

# 自治会長 「守山市都市計画マスターplan」の策定に向けた まちづくりについての意見調書結果 (中間報告)

令和8年1月7日時点

(52自治会／71自治会中 73%回収)

## 目 次

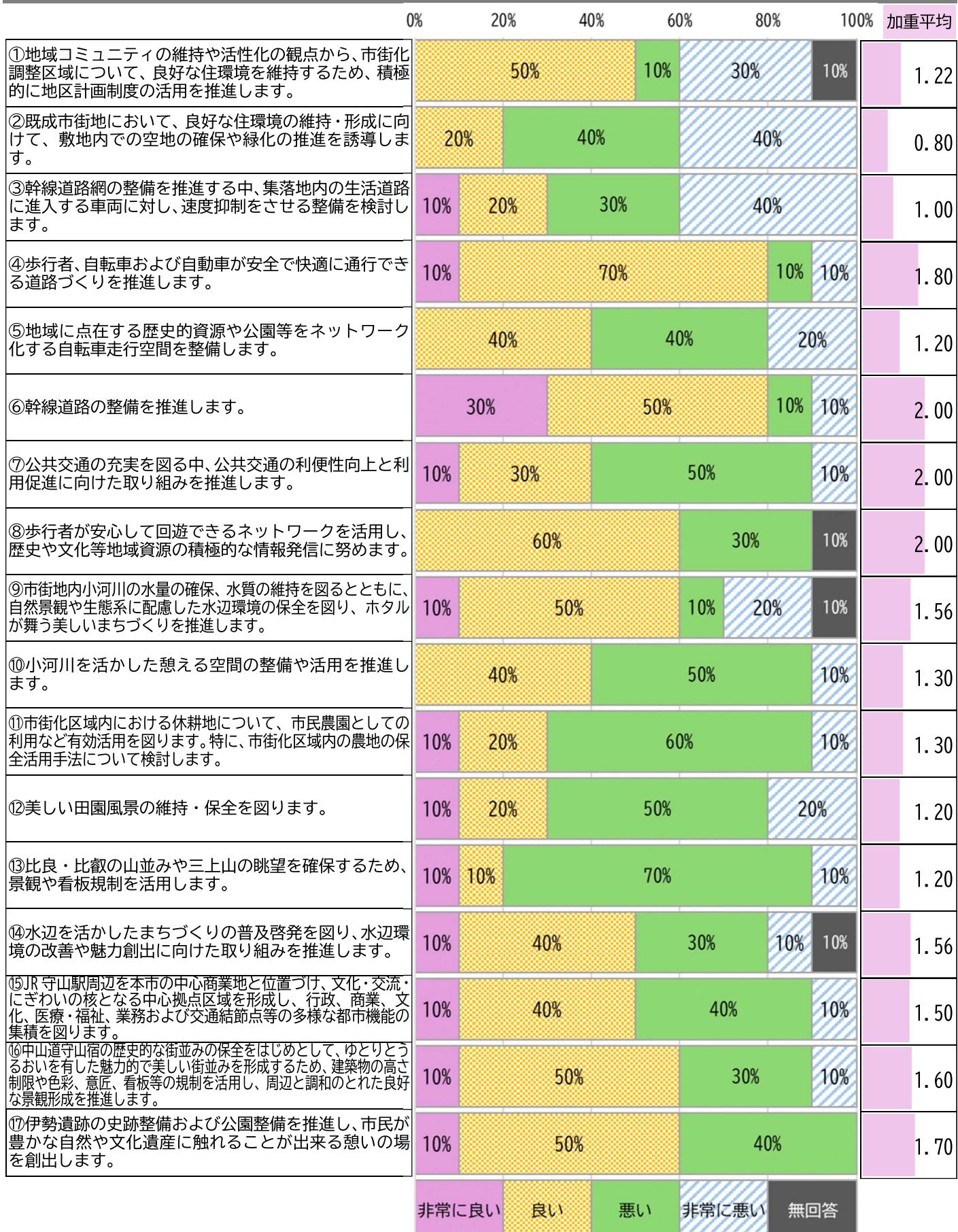
問1	守山市が都市計画マスターplanで進めてきた学区のまちづくりの達成状況について .....	1
問2	まちづくりの課題.....	8
問3	心配事.....	19
問4	まちづくり（都市計画）について自由意見.....	21

# 問1 守山市が都市計画マスタープランで進めてきた学区のまちづくりの達成状況について

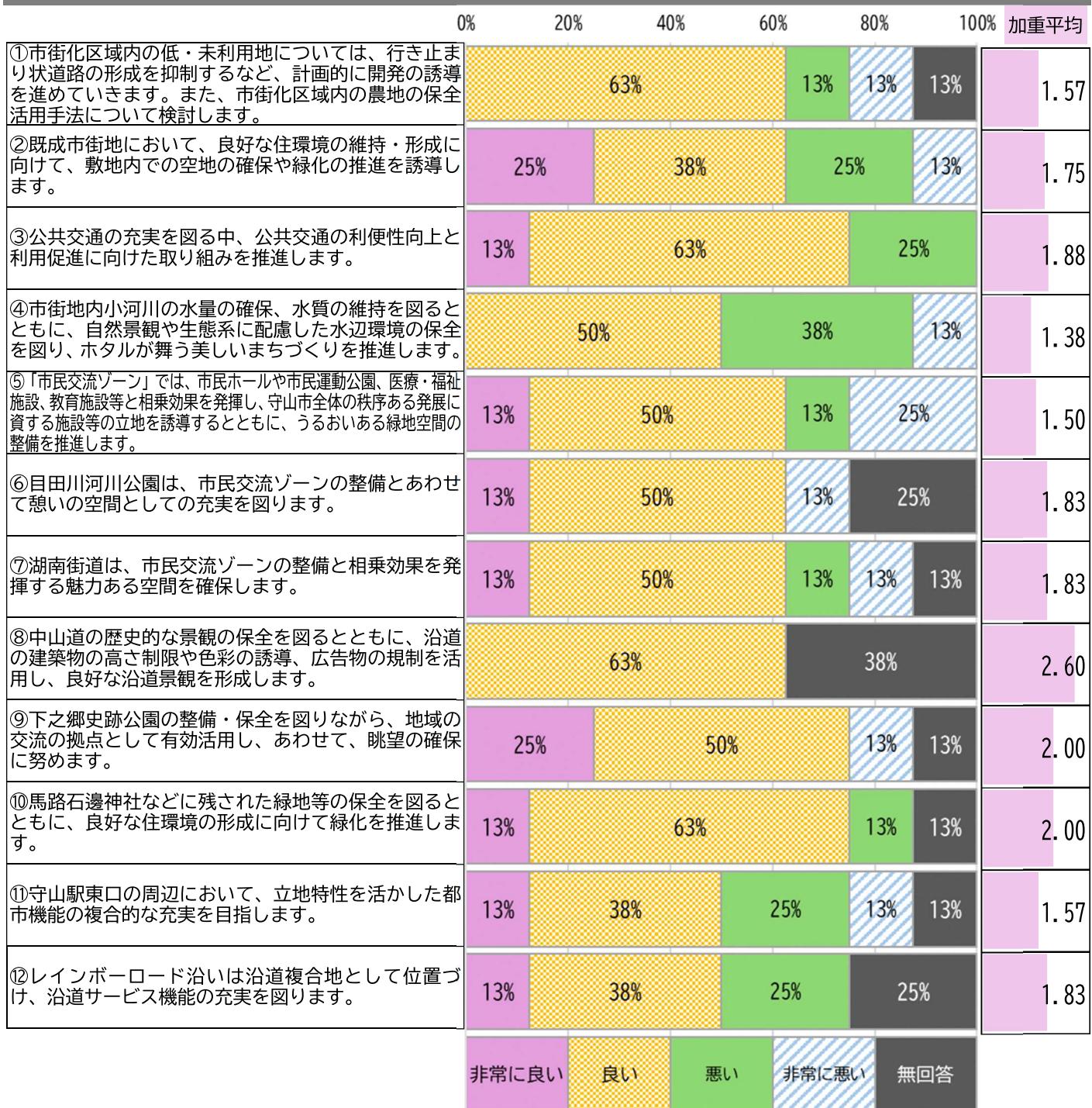
(まちづくり方針のそれぞれについて、あなたが思う達成状況の評価 1～4の番号 1つに○をつけ、そう思う理由をお書きください。)

加重平均：非常に良い（3）、良い（2）、悪い（1）、非常に悪い（0）で算出

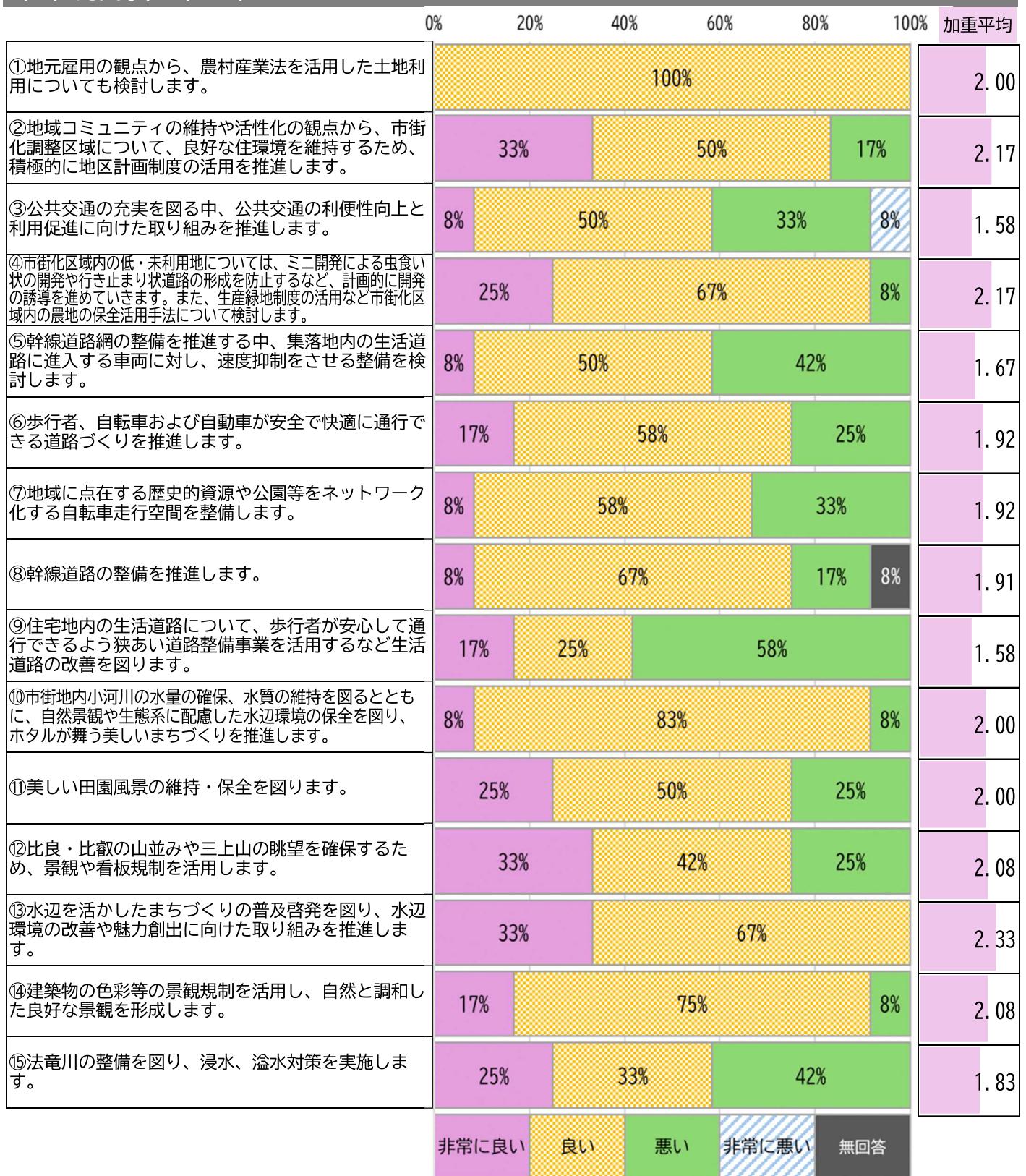
## （1）守山学区（n=10）



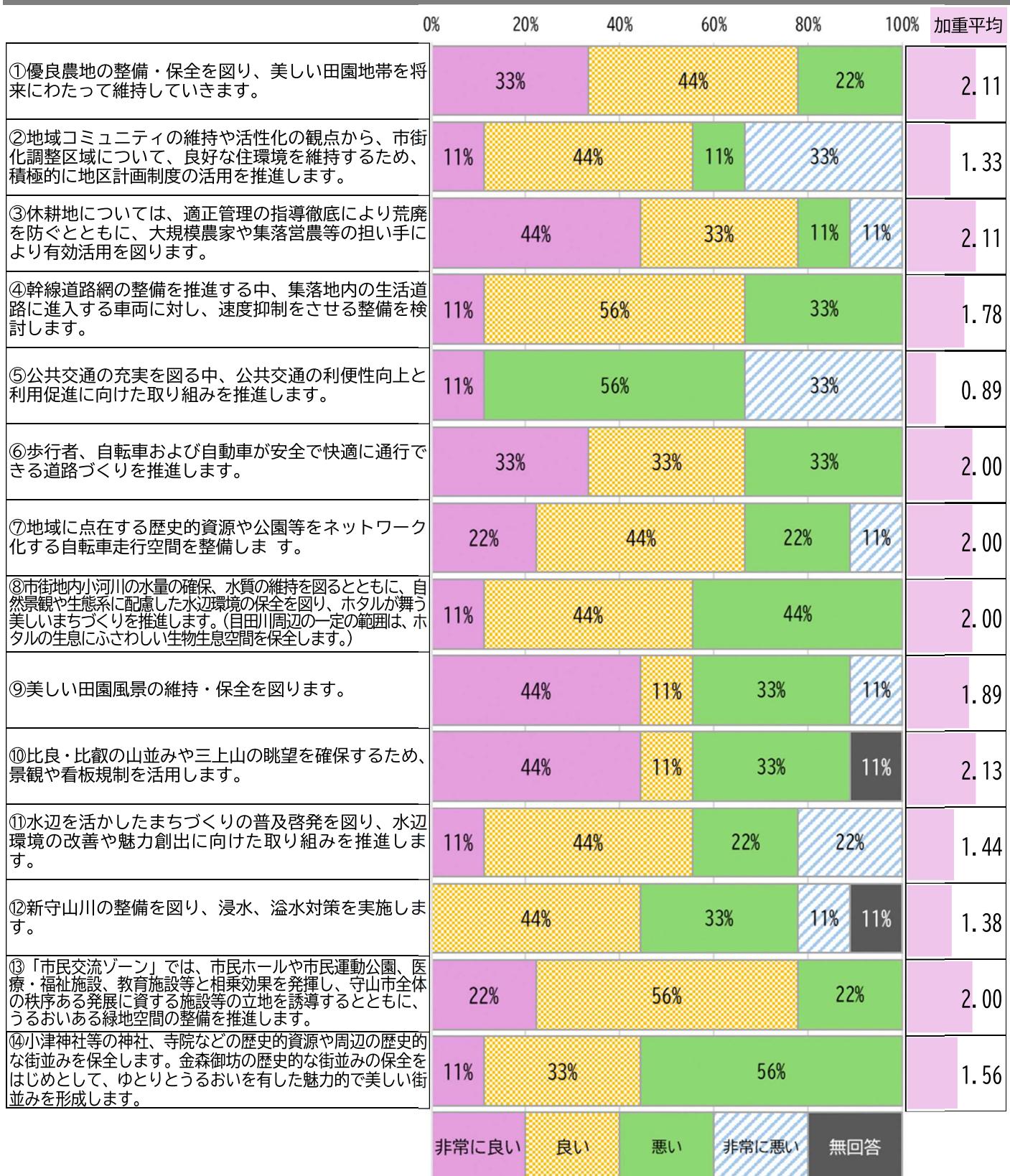
## (2) 吉身学区 (n=8)



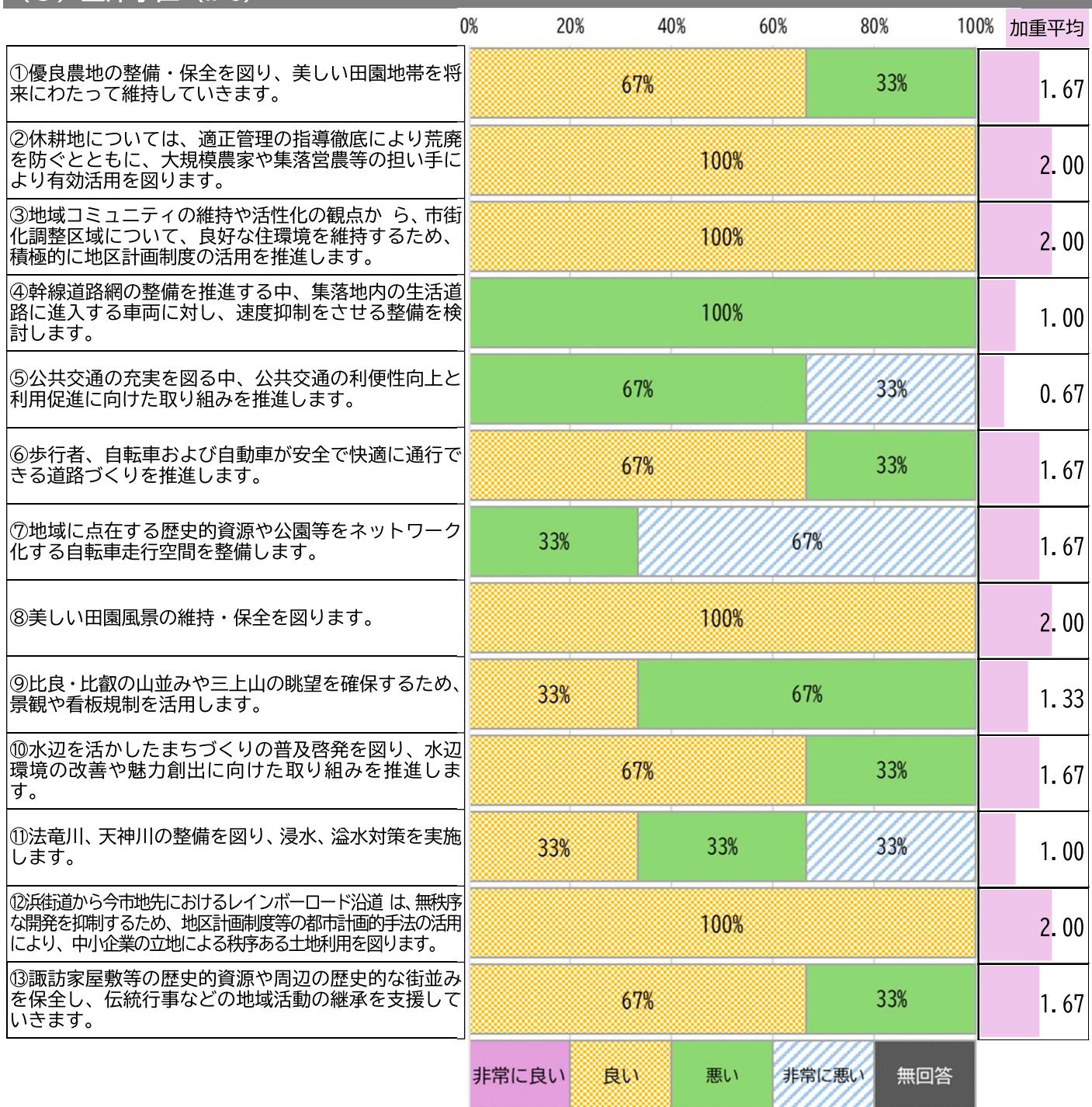
### (3) 河西学区 (n=12)



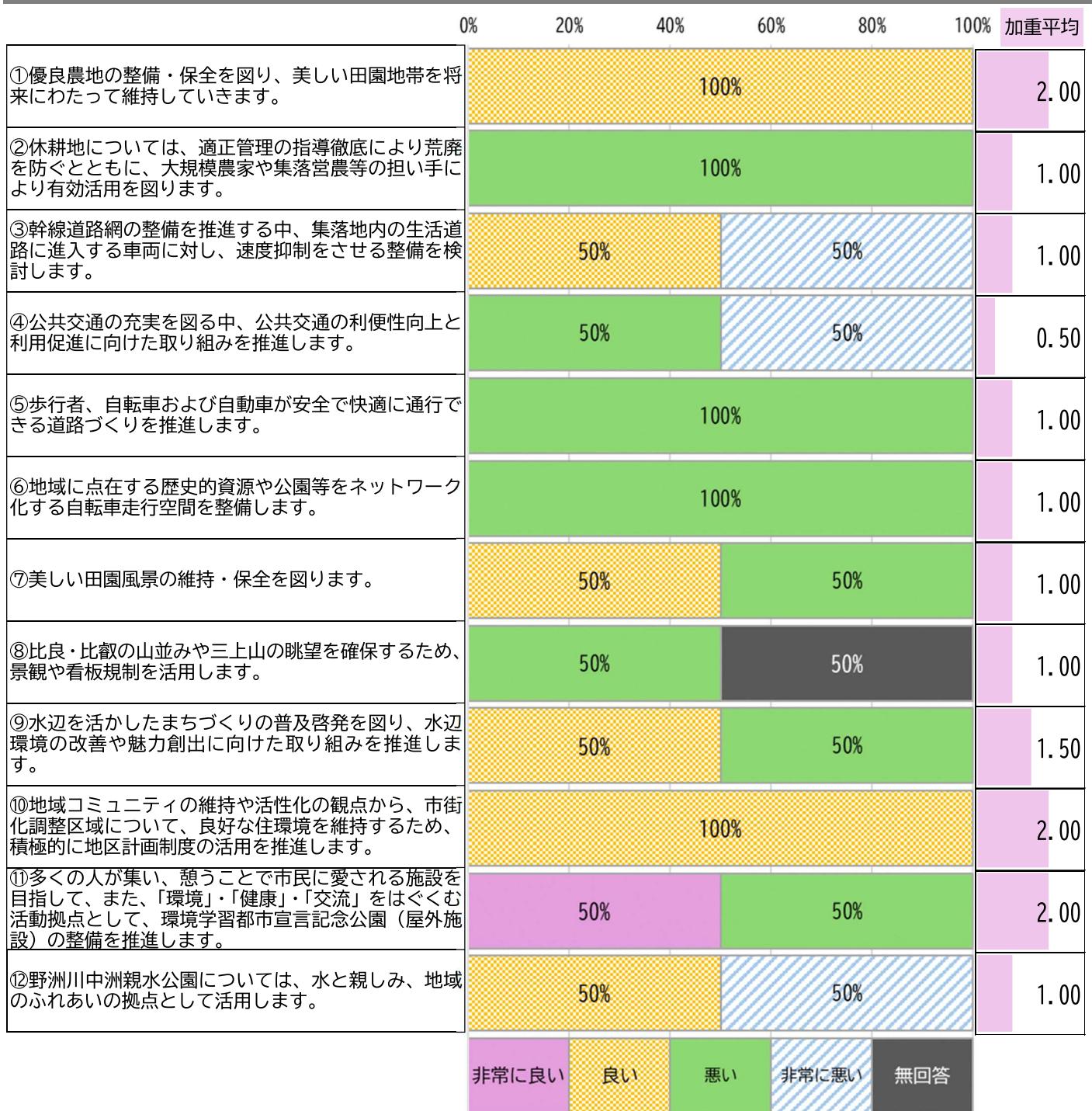
#### (4) 小津学区 (n=9)



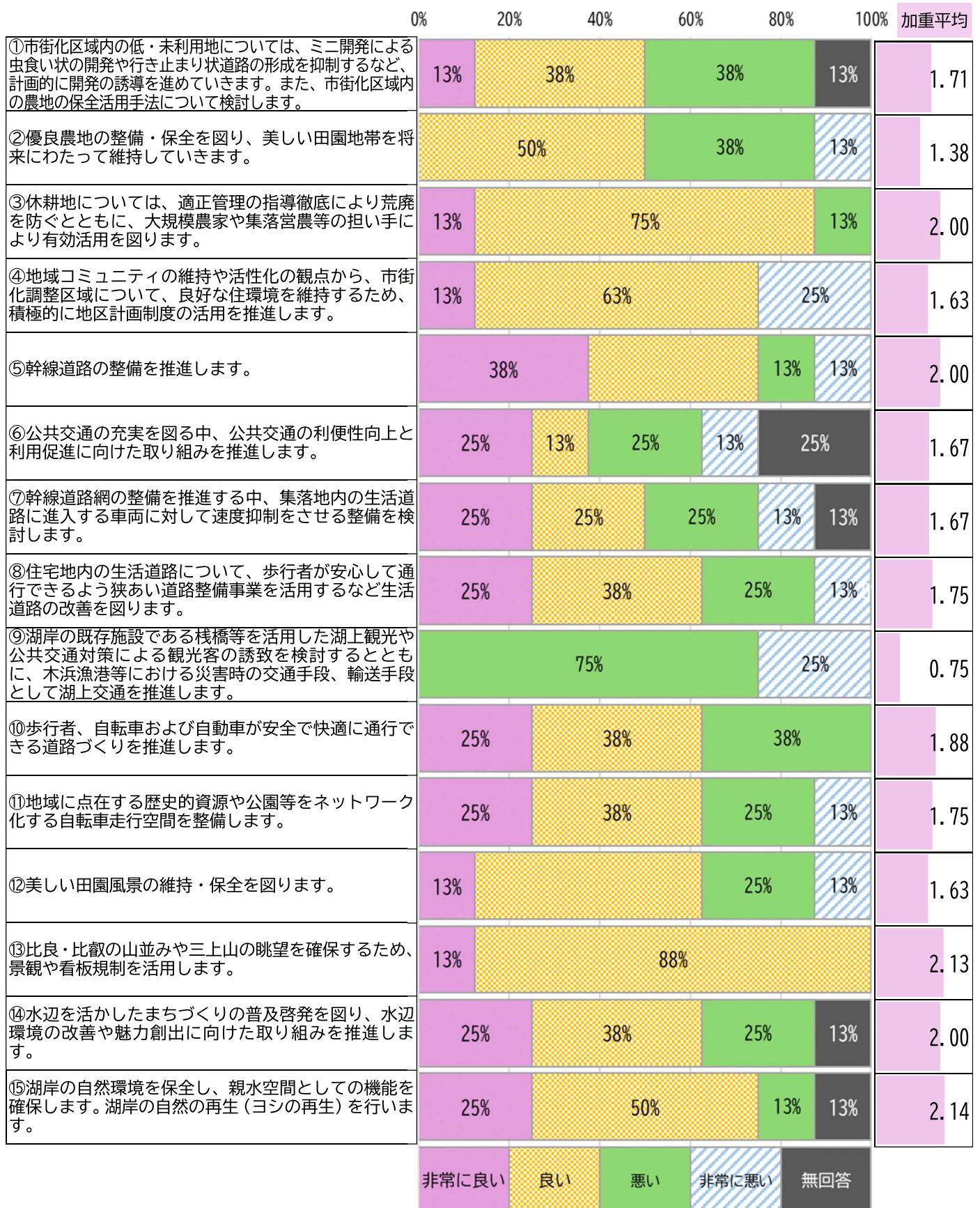
## (5) 玉津学区 (n=3)



## (6) 中洲学区 (n=2)



## (7) 速野学区 (n=8)



## 問2 まちづくりの課題

あなたが属する自治会または学区では、どのようなまちづくりの課題がありますか。

### (1) 住民の増加や減少、少子化や高齢化など地域コミュニティに関すること

#### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
住民の増減や少子高齢化の状況 (25 件)	11	14	0
役員等担い手不足、退会の増加 (25 件)	13	11	1
コミュニティづくりの課題 (18 件)	10	7	1
地域施設・地域整備の課題 (6 件)	3	3	1

#### 2) 主な意見

##### ①南部

###### ■住民の増減や少子高齢化の状況 (11 件)

- ・人口は増加しているとの回答は5件ある
- ・一方で、子どもの数の減少や高齢化、単身者の増加などの現状についての意見
- ・今後の高齢化の進行を懸念する意見 等

###### ■役員等担い手不足、退会の増加 (13 件)

- ・自治会役員等の担い手不足
- ・子ども会の脱会者が増えている（役員になるのが負担らしい）
- ・小学校 PTA の任意加入に関連してこども会の加入者が激減している。こども会が消滅しそう。
- ・高齢世帯と共働き世帯等を理由に役員ができないため、自治会からの退会する方が増え始めている。
- ・高齢化により参加者の減少 等

###### ■コミュニティづくりの課題 (10 件)

- ・旧住民と新住民との融合
- ・地域活動に参加する意識が薄れている
- ・子育て世代のゆとりのなさ、無関心
- ・地域コミュニティを維持する上でも、自治会としてこども会に代わる取組みを検討していく必要がある。
- ・個人情報の壁など、住民相互のネットワークづくりが困難 等

###### ■地域施設・地域整備の課題 (3 件)

- ・ゴミ集積所の新規設置場所の確保が難しい。
- ・自治会館をリニューアルし、今後に備えることを行なっているところです 等

##### ②中部

## ■住民の増減や少子高齢化の状況（14件）

- ・地区計画策定後、一定数の新住民の数は増えている。（人口増の回答はこの1件のみ）
- ・人口減少を食い止められない
- ・住民の高齢化、少子化
- ・高齢化が進み、高齢者世帯が増加、後期高齢者の増加
- ・一人暮らし高齢者が増加していくことが予想される 等

## ■役員等担い手不足、退会の増加（11件）

- ・若年高齢者は勤労者に、若い世代は共働きがほとんどで、自治会役員やまちづくり委員等の担い手がいなくなったりつつある。
- ・担い手の負担軽減を大幅に実施しなければ継続できない、大変困っている。 等

## ■コミュニティづくりの課題（7件）

- ・行政指導による事業活動が多い
- ・従来住民の減少と新住民の増加による考え方の格差により、地域コミュニティの広がりが減少
- ・まちづくり活動に若い世代の意見を取り入れたい また若い世代が入り易い仕組みが出来ていない
- ・高齢者支援サポートの充実が今後の課題 等

## ■地域施設・地域整備の課題（3件）

- ・地区計画の実施
- ・地区計画を検討していく必要性を感じるが、他地域からの流入は町内の混乱を招くとの思いがあるのか乗り気でない方々もいる
- ・白地が多く、事実上地区計画が立てられない 等

## ③北部

### ■住民の増減や少子高齢化の状況（0件）

### ■役員等担い手不足、退会の増加（1件）

- ・子供が小学校を卒業した家庭の方や、自治会役員が輪番制で回ってくるタイミングで、自治会を脱会される方（高齢者の方、共働きで仕事をされている方等）が多くなってきています。多くの方々が一度に脱会される事が心配。

### ■コミュニティづくりの課題（1件）

- ・新興住宅の自治会であり、今後若い世代が出て行って帰ってこないことによる高齢化、閉じこもりなどが課題として挙がってきそう

### ■地域施設・地域整備の課題（1件）

- ・側溝掃除が高齢化のため出席者が少なくなっている

## (2) 住宅地開発や、老朽化や空き家の発生など、居住環境に関すること

### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
開発・居住環境の課題 (9 件)	5	3	1
住民の高齢化等による課題 (7 件)	4	3	0
空家等の課題 (25 件)	7	17	1

### 2) 主な意見

#### ①南部

##### ■開発・居住環境の課題 (5 件)

- ・旧住宅の道路確保（狭小）
- ・狭小地での建て替えにおいて、集合住宅を提案されるなど近隣住民への説明もなく進める業者がいる。開発にかからないとしても集合住宅については同様の規制をお願いしたい。
- ・道の狭い先の土地はなかなか買い手がつかず、空き地のままで、草が生え放題になる。 等

##### ■住民の高齢化等による課題 (4 件)

- ・少子高齢化に伴ないマンション内の住宅に、老々介護、独居、ホーム転居、孤独死などが進んできている
- ・高齢者 1 人住まいの敷地の雑草管理、樹木の管理 等

##### ■空家等の課題 (7 件)

- ・空家の管理(防犯管理、雑草管理)
- ・独居老人の施設入所などから空き家が増えてきており、隣家が迷惑されている
- ・1 軒の空き家の敷地が広いと高価になるため、2 軒の空き家を 3 区画に分ける等の工夫も必要 等

#### ②中部

##### ■開発・居住環境の課題 (3 件)

- ・町内の中に業者への売却地が増え、売り物件として長期間経過した土地が存在している
- ・狭隘道路事業が進まない 新しい住宅用地が不足している 等

##### ■住民の高齢化等による課題 (3 件)

- ・高齢者世代、独居老人世帯の増加傾向
- ・団地内は高齢化が進む一方
- ・旧住民は高齢化が進んでいる 等

##### ■空家等の課題 (17 件)

- ・空き家や空き家になりそうな家が増えてきている
- ・空き家が数件あり盗難や火災等の不安がある
- ・空き家が増加、今後 10 年後にはかなり増える。空き家の防犯、防災対策が必要

- ・空き家の草や樹木が伸び放題で、近隣住民に迷惑がかかっている
- ・一人暮らし高齢者が亡くなった場合の空き家の取扱いについて
- ・10年後に想定される空き家の数から、地区計画等の作成の必要性を感じている
- ・空き家プロジェクトで町民で考える機会を進めている。実際空き家に有害鳥獣が住み着き問題があり行政で対策等検討していただきたい
- ・空き家の持ち主に対して、売却等の情報を提供する必要がある 等

### ③北部

#### ■開発・居住環境の課題（1件）

- ・現在は建替えできているが、今後は建替えは難しい

#### ■住民の高齢化等による課題（0件）

#### ■空家等の課題（1件）

- ・現在はまだ空き家は少ないけど、今後、空き家が増えていく

### (3) 道路整備や公共交通の利便性など交通環境に関すること

#### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
道路整備・改修の課題 (15 件)	8	5	2
交通環境の課題 (13 件)	8	4	1
公共交通の課題 (14 件)	1	12	1

#### 2) 主な意見

##### ①南部

###### ■道路整備・改修の課題 (8 件)

- ・湖南幹線道路拡幅工事による地域復旧道路の整備
- ・野洲川堤防～立入町を通ってレインボーロードにつながる幹線道路の早期完成
- ・片岡・栗東線の片側 2 車線化の早期実現
- ・開発されて 50 年以上経過している為、歩道及び道路など経年劣化している
- ・道路狭隘箇所の整備 等

###### ■交通環境の課題 (8 件)

- ・朝夕のレインボーロードの渋滞
- ・便利になりすぎて、騒音・舗装の劣化の問題が発生している
- ・幹線道路の渋滞による迂回路となっており住民の安全が守れない
- ・東口から西口への手段が充実していない
- ・信号灯や横断歩道等安全面に関して十分ではない
- ・学童通学路の安全確保対策 等

###### ■公共交通の課題 (1 件)

- ・町内にバス停やモーターカーの発着地が少ない

##### ②中部

###### ■道路整備・改修の課題 (5 件)

- ・狭隘道路がすぐに解消できない
- ・市道播磨田布施野線の補修の要望
- ・道路基盤の強化、道路幅の拡張や歩道の整備を図る必要がある
- ・幹線道路から集落内道路に迂回する車が多くなると危惧 等

###### ■交通環境の課題 (4 件)

- ・周辺地域の道路整備、工業団地整備が進み、町内を通る生活道路が抜け道として利用されている、生活者の安全確保を図ってほしい

- ・メロン街道は年々通行量も増加し、大型車の走行も多く、道路が荒れ、振動もひどい、町内の交差点での事故も頻繁に起こっている 等

### ■公共交通の課題題（12件）

- ・バス路線の減少による移動手段の減少
- ・定期バスの本数が減り、始発時刻が遅くなり、最終時刻が早まることで不便を感じる
- ・土日のバスの減便による代替の手段がない
- ・バスの大幅減便で、町民の生活の足ではなくなった。高齢化が進行して移動に困っている人がもっと気軽に利用できるも一リーカーとなるよう進めて欲しい
- ・も一リーカーだけに頼らずコミュニティバス導入を検討してほしい。地域交通事業にもっと予算を使うべき 等

## ③北部

### ■道路整備・改修の課題（2件）

- ・新しい道路の工事より、老朽化に力を入れてほしい
- ・早期に市道美崎27号線の開通を 等

### ■交通環境の課題（1件）

- ・自治会内の市道の内2ルートは軽自動車がギリギリ通行できる細い道、2ルートは、自転車と歩行のみ、車が対向出来るのは1ルートのみ

### ■公共交通の課題（1件）

- ・車がないと日常生活（買い物や受診など）に課題が出てくる中で、現在あるも一リーカーなどの制度も活用しにくく、高齢者になると課題として浮き彫りになる

## (4) 防災、防犯・交通安全に関すること

### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
交通安全に関する課題 (20 件)	12	7	1
防犯に関する課題 (12 件)	3	9	0
防災に関する課題 (12 件)	6	6	0

### 2) 主な意見

#### ①南部

##### ■交通安全に関する課題 (12 件)

- ・通学路の一方通行、時間制限、幹線道路不足
- ・周辺の宅地開発により、もともと狭隘な道路での自動車等の通行が増加しており、安全面の課題が大きくなっている
- ・宅配の違法駐車や町内の速度 30 キロゾーンでの違法速度、自転車でのながらスマホは、危険度を加速しています。警察による取締り強化をお願いします。
- ・旧中山道の銀座西～吉身小学校南間の本町地先では一方通行違反が頻発している
- ・老人会もなくなり、スクールガードをボランティア登録する人が 1 名となった 等

##### ■防犯に関する課題 (3 件)

- ・防犯ではパトロールなど実施しているが、防犯カメラが殆どない
- ・勝部・伊勢線の生協から伊勢と勝部との境（東側）に防犯灯が未設置 等

##### ■防災に関する課題 (6 件)

- ・学区として防災力向上に取り組んでいる
- ・高齢化も進んで、高齢者だけが住んでいる住宅が増えている。自治会の組内で交流できているところは災害時に助け合えると思う。交流のないところでのコミュニケーションの取り方を考えないといけない
- ・今宿は土砂災害、津波災害の可能性は排除した対策を推進している。避難行動を住民に理解していただくのが難しい。行政の周知不足を感じている
- ・災害時の避難所マップを年度毎に配布が必要 等

#### ②中部

##### ■交通安全に関する課題 (7 件)

- ・市道川田～笠原線の運転マナーが悪い
- ・県道欲賀守山甲線橋梁部交差点に信号機が設置されていないため、安全面で非常に不安
- ・通学路の点滅信号機設置をお願いした
- ・メロン街道の交差点付近の事故削減の対策 等

### ■防犯に関する課題（9件）

- ・防犯カメラの設置を準備中
- ・防犯カメラの設置に伴う、補助に拡充
- ・空き家の防犯、防災対策が必要
- ・防犯カメラを設置するなど防犯対策に努めているが、古紙等の持ち去りや神社のさい銭箱を壊されることがある
- ・玉津駐在所がなくなり、防犯面では不安を感じる 等

### ■防災に関する課題（6件）

- ・自衛消防、女性消防の担い手不足
- ・地区には緊急車両が入れないところがある。 橋についても大型車（重量制限）が入れないところがある
- ・災害の少ない地区に住む災害ボケに対する防災意識の向上 等

## ③北部

### ■交通安全に関する課題（1件）

- ・通学路を子供たちが歩く時間帯に多くの車が抜け道として通過します。通り抜けの車は、スピード落とさず通過しています。「スピード落とせ」、「子供に注意」ののぼり旗を立てていますが効果が有りません。時間帯で通り抜けを抑制する様な事が出来ないでしょうか？

### ■防犯に関する課題（0件）

### ■防災に関する課題（0件）

## (5) 商業・工業・農業など産業振興に関するここと

### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
産業振興：商工業 (14 件)	8	6	0
農地・農業 (12 件)	3	9	0

### 2) 主な意見

#### ①南部

##### ■産業振興：商工業 (8 件)

- ・商業・工業は充実している
- ・JRの駅界隈、スーパーマーケット、コンビニエンスストアは充実しているが、銀座通りの平和堂が新しくなって高齢者が衣類を購入するところが無くなりました。
- ・湖南幹線より東側の開発。道路沿いの開発は進んでいるが、奥の農地が取り残された状態となっている。特に、立命館守山より南東側の地域
- ・そのようなスペースはないと思われる 等

##### ■農地・農業 (3 件)

- ・農地が住宅地に変わり、借地で野菜づくりできる場所がほとんどない
- ・農地の減少に伴い組合員が減り、役員のなり手が難しくなってきてている 等

#### ②中部

##### ■産業振興：商工業 (6 件)

- ・笠原工業団地の整備など産業振興策についてはほぼ計画通りに進められているように思う
- ・市民ホールより琵琶湖川の産業推進がない為活力がない。十二里から琵琶湖側への工場誘致をしてほしい
- ・休耕地との利用で商業、工業企業の誘致を進めてもらいたい
- ・空き家活用補助金の設置 等

##### ■農地・農業 (9 件)

- ・就農者が激減し担い手も減少傾向にある 集約集積で効率化を図ると新規担い手も安定すると思われる
- ・担い手不足、就農者の発掘、育成が不可欠
- ・農家の後継者不足 農地集約化の推進 魅力ある農業の環境作り
- ・農業地域が激減した中で、今後地域計画によって農業が継続していくのか
- ・農業に対する補助金は精査すべき 等

#### ③北部

##### ■産業振興：商工業 (0 件) ■農地・農業 (0 件)

## (6) 自然環境、水辺、公園・緑地に関すること

### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
自然環境・水辺 (17 件)	7	9	1
公園・緑地 (18 件)	9	8	1

### 2) 主な意見

#### ①南部

##### ■自然環境・水辺 (7 件)

- ・農閑期の守山川、伊勢川の通水量が少なくホタルがなかなか定着しない。また、生物多様性の維持が難しい。
- ・水環境については、年間を通じた河川の水量確保をお願いしたい
- ・法龍川法面の除草作業が非常に危険な場所がある。法面の整備をお願いしたい
- ・農業実行組合が解散され後、自治会が水路の維持管理をすることになり、自治会としての負担が大きい。
- ・河川清掃も、高齢化により、河川へ入っての清掃も困難になりつつある。 等

##### ■公園・緑地 (9 件)

- ・児童公園の活用
- ・小公園の維持管理が難しくなってきている（少子化により）
- ・高齢化により、公園緑地の維持管理が困難になってきている 等

#### ②中部

##### ■自然環境・水辺 (9 件)

- ・新守山川の工事が完了した。守山川により町内の川の増水はなくなったが、水流が減少し、雑草と藻の繁殖がひどくなり、美化作業が大変になっている。また、畑の水やりの水が流れてこない、川が臭い等の苦情も出て水流の確保に困っている。
- ・新守山川の遊歩道にかかる整備（雑草、川ののり面）の頻度を増やしてほしい
- ・地球環境の森内に子供たちが魚釣りや川遊びができるようなあればと思う 等

##### ■公園・緑地 (8 件)

- ・小公園の管理
- ・公園や神社、その他の公共用地、利用が少なく、除草管理が年々大変になっている。小公園はアスファルト舗装をしたい
- ・公園の更なる充実化 等

### ③北部

#### ■自然環境・水辺（1件）

- ・大川河川に倒れこむ見苦しい倒竹木の除去

#### ■公園・緑地（1件）

- ・大川河口部に来訪者向けの駐車場および、トイレの設置

### 問3 心配事

今後は少子高齢化と人口減少などにより、従来と同じ水準で各種インフラや地域活動を維持していくことが難しくなることが予測されますが、あなたが属する自治会または学区において、どのような心配事がありますか。

#### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
心配事全般 (7 件)	5	2	0
コミュニティ (38 件)	17	18	3
居住環境 (5 件)	3	2	0
安全 (3 件)	2	1	0

#### 2) 主な意見

いずれの地域も、コミュニティに関する心配事が多くを占め、内容は問2のコミュニティに関する課題と重なっているが、特に祭りや神社などの伝統行事の維持に苦慮している意見がみられる。居住環境や安全に関することも、コミュニティ活動に関わる内容が多かった。

##### ①南部

###### ■コミュニティ (17 件)

- ・現在造成中の住宅入居により、20~35歳の人口増加で高齢化率は低くなる反面、自治会運営を担う世代の増加なく担い手不足を危惧する
- ・自治会長をはじめ自治会三役が推薦する役員（民生委員・児童委員等）の選出たいへん難しくなってきている
- ・特に高齢化している地域（班）での自治会活動に懸念がある。行政等から要求される各種委員（民生委員、健康推進員、福祉協力員、他）や自治会役員のなり手不足が顕著であり、依頼するのに大変な労力を要している。
- ・自治会役員ができないので退会しますなど、自治会を退会する人が年々増加している。
- ・高齢化に伴い、最小コミュニティである班が維持できず、近隣班との合併や班割の見直しなどが急務になると見込んでいる。

###### ■居住環境 (3 件)

- ・空き家もこれから増えてくると思うので、空き家の活用等を検討していかないといけない
- ・既存住宅地や、マンションなどにも都市ガス網の整備が必要

###### ■安全 (2 件)

- ・小学生の集団登校

##### ②中部

###### ■コミュニティ (18 件)

- ・自治会員の高齢化に伴い、自治会を組織している班活動などに支障が出てきている。今後、さらに進むことが予測されるため、対策が必要になってくる
- ・役員・環境維持・事業すべてにおいて発想を変えていく必要がある
- ・高齢化により、祭り事等に参加できる人の減少等、伝統行事の存続事態が課題。
- ・地区計画により、新しく若い世代が増加したが、いわゆる旧集落の住民に中年から高齢者手前の世代の人数が少ないこともあり、今後、神社を維持していくことが、新しい若い世代の人の理解を得る中で成り立っていくかはわからない
- ・高齢化が顕著な地域であり町内事業を維持するための大幅な改革が必要。学区事業に関しても従来と変わらずでは、継続不可能であると考える。新たな発想での改革が求められる。

### ■居住環境（2件）

- ・高齢化に伴い、団地内の公園の維持が難しくなる

### ■安全（1件）

- ・自主防災組織の一員として役割を担ってきた各種団体の解散等により、今後自主防災組織の構成を考え直す必要がある。

## ③北部

### ■コミュニティ（3件）

- ・ごみについての苦情が多いので、対応に困っている。未入会の人に対して、任意団体で自治会が対応するのはおかしいと思います。ごみ箱の管理は市でしてほしい。
- ・自治会加入率が低下し、自治会を存続運営する事が難しくなるのではと心配しています。
- ・役員の高齢化が進むと、従来行事の実施が困難になることで、地域の繋がりが余計に希薄になっていくことが不安。

#### 問4 まちづくり（都市計画）について自由意見

守山市のまちづくり（都市計画）について、ご意見などありましたら、ご自由にお書きください。

#### 1) 集計結果

	南部地域 (25 自治会)	中部地域 (24 自治会)	北部地域 (3 自治会)
まちづくりへのご意見全般（19 件）	8	9	2
地域整備の要望（6 件）	4	2	0
コミュニティ（5 件）	2	3	0
アンケートについて（3 件）	2	1	0

#### 2) 主な意見

##### ①南部

###### ■まちづくりへのご意見全般（8 件）

- ・美しい田園風景の維持と、活気ある街づくりの両立を計画的に進めていただきたい。
- ・今後も人口増を守山市の方針として掲げられるのであれば、インフラ整備から、先ずは道路を見直さなければ、それを目標にしてはなりません。市街化調整区域を地区計画にて開発を進めていくのであれば都市計画を見直すべきです。守山市では、コンパクトシティを標榜されているのではないでしょうか。守山市の市政を見直すべきではないでしょうか？将来負担、増えますよ！

###### ■コミュニティ（4 件）

- ・ハード面にばかり着目し、ソフト面の改善を全く感じられない。団塊世代はまもなくまちづくりの現場から引退しますので担い手が大幅に減ります。しかし若い世代はまちづくりに関わる余裕、習慣がありません。どのように接点をつくるのか、自治会まかせでは限界に来ています。特に新興住宅の多い自治会は大変そうですので、しっかりフィールド調査をして下さい。
- ・高齢化、担い手不足により、近い将来、自治会の運用が出来なくなり、市にその役割をしてもらうことに変わっていきます。今から準備をする必要性を、ご理解していただきたい。

##### ②中部

###### ■まちづくりへのご意見全般（9 件）

- ・人口減少社会が進んでいく中で、将来、過度な負担を回避することを常に視野に入れた規模等の施策を進めるこの必要性を市民に周知しながら、各種の施策に取り組んでいくことが肝要であると思う。
- ・調整地域は市街化を抑制する地域であるが、日常生活に必要な食材を調達する店もない。制約で生活が不便になるのはどうなのか。
- ・市街化調整区域の地区計画は、当面、市の継続方針として欲しい。
- ・40 年前、入居当時は、何もない場所であったが、市民ホール、警察署、立命館、ハズイタウンが出来て非常に便利になったが、今後は明確なビジョンを持って進めていかなければ、緑豊かな守山市の特徴がなくなる。

- ・守山駅周辺の活性化地域と駅周辺から離れた若者離れの進む地域の二極化が進む都市計画はいかがなものか。もう少しバランスの取れた取り組みが必要と思う。

#### ■コミュニティ（2件）

- ・守山市は、特に小さな自治会には、必要なサポートをお願いしたい（当町の将来に向けてのコミュニティ維持、住みよい町づくりに、地区計画での住宅地整備が必要と思っている）
- ・守山市高い自治会加入率を活用してまちづくり活動を自治会に依存しすぎているのではないか。

### ③北部

#### ■まちづくりへのご意見全般（2件）

- ・美しい田園を大事にしていただきながら、企業誘致に力を入れてほしい。赤字の財政の中で建物等の修理代などの管理費のシミュレーションを行うべきではないかと思います。